



企業理念 **地域共栄・未来創成**
 ビジョン **積み重ねてきたこと、
 私たちの成長のすべてを
 地域・社会に活かす。
 未来につなげる。**

行動指針 **誠実に、果敢に、おもしろく**

●大切にしていること まちの持続性を高める、事業を通じた社会貢献

●未来のお客様を創造する - 子供たちへのモビリティマネジメント -

子供のころ、両親や祖父母に連れて行ってもらった中心市街地の百貨店の思い出。それは、バスで出かけた思い出でもあります。でも今は、車でショッピングモールに出かけることが多くなりました。まちでの思い出を持たない子供たちは、大人になって自分のまちや商店街に愛着を持ってくれるのでしょうか…。そこで私たちは、まちと路線バスの将来のお客様づくりのために、子どもたちへのモビリティマネジメントに取り組みます。この活動のゴールは、中心市街地の持続性（＝魅力）向上→利用者増加による収益の維持・向上→高齢者などの交通弱者にも住みやすいまちづくりのための移動サービスの維持です。

※モビリティマネジメントとは、個人にも社会にも最適な移動手段をデザインしていくこと



2020年2月18日(水) 神戸(国) 地域(編集)

神姫バス車内放送 城乾小1年生が アナウンス挑戦

音声録音、4月から使用

神姫バス（姫路市駅前）は4月1日から6月30日まで、同市を走る主要路線の一つで、行先案内の音声案内を、小学生の乗客に合わせた内容で変更する。その音声の公開録音が17日、同市南八代町の城乾小で実施された。1年生がアナウンス文を読み、読みが上手な子も多かった。収録は、同市南八代町の城乾小で実施された。1年生がアナウンス文を読み、読みが上手な子も多かった。収録は、同市南八代町の城乾小で実施された。

「次は、〇〇バス停です」と、路線バス沿線に住む子供たちの声が車内に響きます。

神戸新聞 2019年12月22日(日) 3面(神戸) 地域(編集)

サンタ×三田プロジェクト

歌やゲーム楽しむ 特別バス

夜空へ…ランタンに歓声

サンタシティに笑顔

毎年12月に「サンタシティ」を名乗る三田市でさまざまな企画が開催される「サンタ×三田プロジェクト」が21日、メインイベントを繰り出した。市役所前広場ではサンタクロースの帽子をかぶった人々にぎわい。夜にはサンタクロースやトナカイなどの電飾が輝き、改札を抜けると、おなじみの赤と白の「サンタカラー」の電飾が目に見え込んでくる。駅構内の自動販売機近くでは1時間に1回ほど、「ジングルベル」「きよしこの夜」といった曲をCDラジカセで流し、乗客が歌を聴きながら楽しむ。JR三田駅と新三田駅でも25日まで1日3回、同様のクリスマスマスコットを飾り、ムードを盛り上げる。

神戸電鉄三田駅（駅前町）には、駅入り口に「SANTA駅」と書かれた真っ赤な門を立てて、25日まで駅名を変更。夜にはサンタクロースやトナカイなどの電飾が輝き、改札を抜けると、おなじみの赤と白の「サンタカラー」の電飾が目に見え込んでくる。駅構内の自動販売機近くでは1時間に1回ほど、「ジングルベル」「きよしこの夜」といった曲をCDラジカセで流し、乗客が歌を聴きながら楽しむ。

「次は、〇〇バス停です」と、路線バス沿線に住む子供たちの声が車内に響きます。

クリスマス装飾を施した連節バスが三田市内を走り、イベントを盛り上げました。